

令和8年2月24日
北海道開発局

令和8年7～8月催行予定の「地域共創インフラツアー」!

～地域と共に創り上げるストーリー性のあるツアーを企画・催行する旅行事業者を募集します～

北海道開発局では、公共施設(インフラ)を観光活用することにより地域活性化に貢献するとともに、インフラへの理解を深めていただくことを目的に、インフラツーリズムに取り組んでいます。

このうち、「インフラが支えた地域発展の歴史」を柱に、地域の「歴史、産業、文化、食」といった様々な要素を取り入れ、地域と調整しながらストーリー創りを行い、関係機関と連携してツアーを実施していくことで、インフラを観光資源とし、地域活性化のためのツールの一つとして幅広く活用されることを目指した「地域共創インフラツアー」を実施します。

7月～8月を予定している下記の企画について、ツアーの催行を希望する旅行事業者を募集します。

記

1 ツアーテーマ

(根釧酪農編)

日本の酪農を支える根釧地域を学ぶ

(石炭と治水編)

釧路の発展を支えてきた石炭と釧路川治水の歴史を巡るツアー

2 募集期間 令和8年2月24日(火)～令和8年3月9日(月)

3 申込方法等 応募要領、申込様式、申込先等については、北海道開発局HPをご参照ください。

URL: <https://www.hkd.mlit.go.jp/ky/ki/renkei/splaat000001lr55.html>

4 企画内容等 詳細は別紙をご参照ください。

【問合せ先】国土交通省 北海道開発局 電話(代表) 011-709-2311

開発監理部 開発連携推進課 開発企画官 五百木 英明 (内線 5433)

開発監理部 開発連携推進課 上席専門官 坂田 誠一 (内線 5441)

開発監理部 開発連携推進課 松下 明日香 (内線 5442)

北海道開発局ホームページ <https://www.hkd.mlit.go.jp/>



令和8年度 地域共創インフラツアー 対象テーマと予約枠

ツアーテーマ		時期	予約枠数
根釧 酪農編	日本の酪農を支える根釧地域を学ぶ	7月下旬～8月上旬	全1回
石炭と 治水編	釧路炭鉱と釧路川流域治水の歴史から釧路の発展を辿るツアー～釧路炭鉱と新釧路川の治水～	7月下旬～8月上旬	全1回

テーマの詳細、メニューリストは次ページ以降をご覧ください。

地域共創インフラツアー（根釧酪農編）

日本の酪農を支える根釧地域を学ぶ



◆本ツアーは、日本の酪農を支える根釧地域における輸入家畜飼料の輸送及び貯蔵～生乳生産～加工～道外輸送までの1本の牛乳ができるまでの道のりを辿りつつ、これらを繋ぐ輸送ルート（物流ネットワーク）や国産飼料生産基盤の強化を図るための農地再編整備事業の整備状況とその効果を学んでいただけます。

予約枠 7月下旬から8月上旬の平日に1回（日程は調整の上決定）

ツアー定員 15名程度

※その他応募の諸条件は、催行応募要領をご覧ください。

👉 ここがポイント！

☆明治以来、根釧地域の産業とともに発展を遂げてきた釧路港をスタート地点として、牛乳ができるまでの流れを順にたどりつつ、生産過程と物流の流れを一体的にツアーで体験していただけます。

☆RORO船「ほくれん丸」を間近で見学できるのは道内では釧路港だけ！

メニューリスト

ツアーを企画する際は、以下の「メニューリスト」のうち☆印は必須の見学スポットですが、その他グルメ、観光スポットなどを任意で行程に組み入れていただけます。【 】は所要時間の目安です。

① 西港区第2埠頭地区国際物流ターミナル（☆）【30分】

釧路港の役割・利用状況を解説を聞きながら見学。

② 三ツ輪運輸飼料原料貯蔵施設（☆）【50分】

家畜飼料原料の巨大な貯蔵施設を見学。

③ JA阿寒 釧路TMRセンター（☆）【25分】

牛の給食センター（家畜飼料配合施設）を見学。

④ 国営緊急農地再編事業 阿寒地区（☆）【20分】

事業に関する説明を聞きながら大区画整備後の農地を見学。

⑤ 仁成ファーム（☆）【45分】

大規模農場の先端施設を見学。

⑥ よつ葉乳業（株）根釧工場（☆）【40分】

会議室にて工場概要を説明、動画による製造工程視聴。

⑦ ほくれん丸（☆）【60分】

トラックでの荷物積み込み作業を船内で見学。

※見学施設は全て解説付きです。 ※釧路市発着の日帰りツアーとしての催行を推奨します。

○見学可能な施設



国営緊急農地再編事業
阿寒地区



仁成ファーム



よつ葉乳業(株)根釧工場



JA阿寒 釧路TMRセンター



ほくれん丸



西港区第2埠頭地区
国際物流ターミナル



三ツ輪運輸飼料原料貯蔵施設



地域共創インフラツアー（石炭と治水編）

釧路の発展を支えてきた石炭と釧路川治水の歴史を巡るツアー

- ◆釧路の発展を支えてきた石炭と釧路川治水の二つの歴史を、学芸員と開発建設部職員の解説により学びます。
- ◆石炭・水産・製紙の三大基幹産業により発展してきた釧路の歴史について、石炭を焦点に学びます。
- ◆令和6年度に公益社団法人土木学会の選奨土木遺産に認定された旧岩保木水門の中に入り、釧路川治水の歴史を学びます。

予約枠 7月下旬から8月上旬の平日に1回を想定（日程は調整の上で決定）

ツアー定員 15名程度

※その他応募の諸条件は、催行応募要領をご覧ください。

👉 ここがポイント！

☆釧路開発建設部と釧路市立博物館の連携で、開発建設部職員・学芸員によるツアー参加者限定の解説付きで、各施設を見学できます。

☆通常は内部公開していない「旧岩保木水門」の中に入り、少人数でじっくり見学することができます。

メニューリスト

ツアーを企画する際は、以下の「メニューリスト」のうち☆印は必須の見学スポットですが、その他グルメ、観光スポットなどを任意で行程に組み入れていただけます。【 】は所要時間の目安です。

① 釧路市立博物館（☆）【50分】

石炭を中心とした釧路の産業の歴史を学芸員の解説により見学。

② 旧太平洋炭礦 炭鉱展示館（☆）【30分】

太平洋炭礦株式会社の歴史を学芸員の解説により見学。

③ 釧路港東港区南埠頭（☆）【20分】

釧路の産業の礎を支えた物流拠点としての近代港湾の始まりを港湾管理者の解説により見学。

④ 太平洋石炭販売輸送臨港線跡地（☆）【30分】

太平洋石炭販売輸送臨港線跡地を学芸員による解説により散策。

⑤ 新釧路川・旧岩保木水門（☆）【40分】

旧岩保木水門を開発建設部職員の解説により見学。

⑥ 新釧路川右岸堤防道路（☆）【40分】

新釧路川の右岸側から釧路湿原を開発建設部職員・学芸員の解説により見学。

※見学施設は全て解説付きです。 ※釧路市発着の日帰りツアーとしての催行を推奨します。

○見学可能な施設

